

大学院都市工学専攻 社会人対象 「社会基盤マネジメントプログラム」

社会人
学生募集

2016年度入学



東京都市大学

TOKYO CITY UNIVERSITY

大学院 工学研究科 都市工学専攻

東京都市大学
工学研究科長
皆川 勝

開設の目的

- 1) 国際化に対応できる実践的能力を持つ技術者の育成
社会基盤施設のマネジメントに関する国際的レベルの修士・博士課程の教育を提供
- 2) 公的機関、建設企業、建設コンサルタント企業等に勤務する実務家を対象としたプログラム(第1ステージ)
- 3) 途上国を中心に国外大学の講師や政府機関に勤務する実務家を対象としたプログラム(第2ステージ)

マネジメントを 総合的に学習

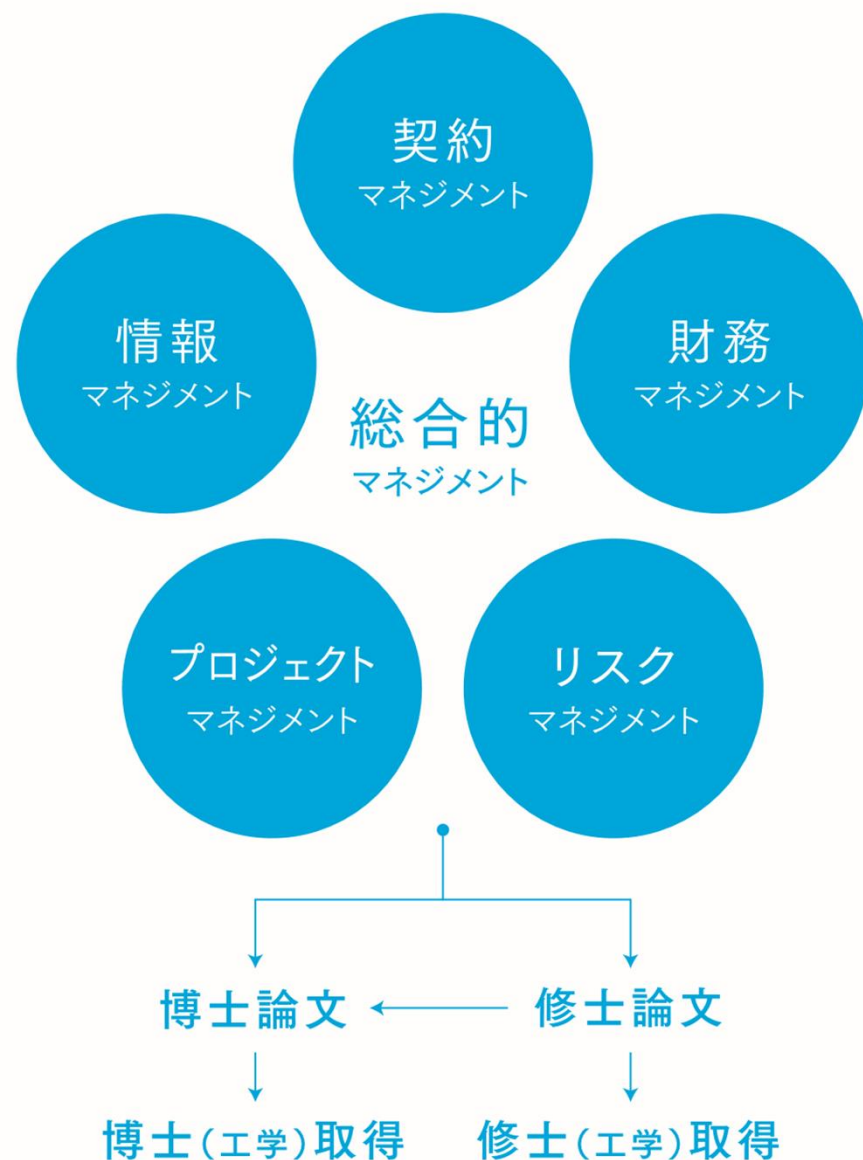
1) 契約, 財務, 情報などのマ
ネジメント技術

2) 修士課程

課程の学修を経て, 実務的
テーマの研究

1) 博士後期課程

実務家として先端研究



方法

- 1) 継続教育を切望する国内外の社会人学生の要請に応え得るため、国際化に対応できる内容とレベルに見合った修士・博士課程の教育を提供する。
- 2) 実践的かつ実効性の高い教育内容とするために、国内外の当該分野の先端研究者や実務経験者による講義を主体とし、専任教員による教育研究に拘らない教育体制を作る。
- 3) 社会人教育に適した実施体制とするため、又、高度かつ実践的・実務的な研究テーマを生み出せるよう、既存の課程と独立したカリキュラムを構築する。

特徴



平成28年度 [2016年度] | 社会人選抜

社会基盤マネジメント

- 社会基盤産業に必要な実践的マネジメント力を育成。
- 講義は土日に集中的かつ効率的に実施。
- 渋谷駅前のサテライトクラスを中心に、少人数対話型学習。
- 授業料は、修士課程で50%、博士後期課程で90%を減免。

- 1) 社会基盤のマネジメント技術の体系的学習
- 2) 様々な角度から考える場
- 3) 月一回の土日に渋谷サテライトクラスにて
- 4) 少人数制の講師との対話型講義
- 5) 修士課程50%、博士後期課程90%の授業料減免

私学は、内容だけでは社会人学生を集められない。
よい内容を提供し、適切な優位性を示すこと。

募集
人数

修士課程	24名
博士後期課程	6名

※募集人員は、推薦入試(A日程)および一般入試(B・C日程)を含んだ都市工学専攻の全体の募集人員となります。

学納金

入学金	270,000円
授業料(年間)	修士 1,190,000円 博士 1,190,000円

授業料については、修士課程では50%、博士後期課程では90%の減免が社会人選抜を経て入学する全入学生に適用されます。

非常勤講師

(五十音順)



株式会社建設技術研究所 国際部 技師長
東京都市大学 客員教授

伊藤 一正

国内外コンサルティング実務、先端的情報活用技術に関する学術活動に長年従事。中近東やアジアにおけるコンサルティングや人材育成業務を実践。



東京都市大学 客員教授

草柳 俊二

大手建設会社に勤務し多くの国で建設プロジェクトに携わった後、大学に転身。我が国のプロジェクトマネジメント研究の第一人者。社会人大学院教育を実践。



高知工科大学 システム工学群(社会システム工学教室) 准教授
東京都市大学 客員准教授

五艘 隆志

建設実務に携わった経験を活かし、海外と国内の建設マネジメント技術の類似性と相違点に注目した多くの研究成果を上げ、社会人大学院教育も実践。



日本工営株式会社 技術監査室 技師長

畑尾 成道

海外コンサルティング実務を長年にわたって担うとともに、技術者・経営者としての視点から、我が国の建設コンサルティング業界をけん引。

特別講義講師

(五十音順)



東京大学大学院 工学系研究科 教授

小澤 一雅

我が国の公共調達に係わる制度設計に携わる、建設マネジメント、公共調達および国際プロジェクトマネジメントの分野の第一人者。



株式会社日本開発政策研究所 主席コンサルタント
東京都市大学 客員教授

勝俣 陸男

ゼネコンを経て国際開発コンサルタントに転身。カンボジアで初となる経済特別区を敢行。JICA経済特別区専門家、世界銀行技術コンサルタントを歴任。



日本大学 生産工学部 土木工学科 教授
東京都市大学 客員教授

木下 誠也

国土交通行政の中核において建設マネジメント、防災・危機管理、河川・水資源に関し多くの実績を挙げ、大学に転身して行政者・研究者としてこの分野をけん引。



弁護士
東京都市大学 客員教授

辻岡 信也

土木系学科卒業後、大手ゼネコンに設計及び研究者として勤務。現在は土木建築関係紛争を扱う弁護士として、また歴史的建造物保存に参画する一級建築士として第一線で活躍。



CEO.Pegasus Global Holdings, Inc.
東京都市大学 客員教授

Patricia D. Galloway

多くの企業戦略コンサルティングや建設紛争審査に携わる、米国コンサルティング企業代表。元米国土木学会会長。



インドネシア バンドン工科大学 教授
東京都市大学 客員教授

Rizal Z. Tamin

東南アジアにおける建設マネジメント研究の第一人者。アジア国際建設マネジメントフォーラムのメンバーとして人材育成・技術移転プログラムを推進。

専任教員は“ボランティア”

右表は、大学院の担当者と担当学科目

下表の社会人プログラムは+α

教育課程表 学科目及び必修科目

- 必修科目は、表中の必修科目欄にある授業科目の中から2科目4単位とする。なお、自分が指導を受けている指導教授の担当する授業科目を必ず履修しなければならない。
- 学科目に付随する科目(実験・演習等)及び特別研究は、授業時間外において指導教授の指導のもと行う。
- 指導教授欄の*印は、研究指導補助教員である。

学 科 目	必 修 科 目	年次・単位数			指 導 教 授	
		1年次	2年次	計		
構造安全工学	所 属 学 科 目 に か か わ ら ず 右 の 科 目 の 中 か ら 4 単 位 を 選 択 す る こ と	信頼性設計法特論	2		2	教 授 丸山 収
		鋼構造特論	2		2	准教授 白旗 弘実
災害軽減工学		耐震工学特論	2		2	教 授 吉川 弘道
		コンクリート工学特論	2		2	准教授 栗原 哲彦
地盤環境工学		地盤動力学特論	2		2	教 授 末政 直晃
		地盤工学特論	2		2	准教授 伊藤 和也
水圏環境工学		環境水理学特論	2		2	教 授 長岡 裕
		生物反応工学特論	2		2	講 師 田中 陽二 *
計画マネジメント		建設マネジメント特論	2		2	教 授 皆川 勝
		計画マネジメント数理特論	2		2	教 授 吉田 郁政
		地域計画特論	2		2	准教授 中村 隆司
		交通工学特論	2		2	准教授 今井 龍一 *
各学科目共通		各学科目演習	2		2	各学科目担当教員
		各学科目実験	2		2	
		特別研究			8	

学 科 目	必 修 科 目	年次・単位数			指 導 教 授
		1年次	2年次	計	
社会基盤マネジメント	社会基盤マネジメント文献調査	2		2	教 授 皆川 勝
	社会基盤マネジメント演習	2		2	教 授 吉田 郁政
	特別研究			8	教 授 丸山 収 教 授 宮本 和明 教 授 横山 眞一郎 准教授 今井 龍一 *

開講科目(1) 実施中

1) 建設プロジェクトマネジメント特論

日本の社会基盤事業に関わる実態を国際社会と比較しながら分析

2) 国際建設マネジメント特論

国際建設プロジェクトの遂行に必要なマネジメント技術の論理を学ぶ。

3) 国際建設契約管理特論

ODA調達ガイドライン、FIDIC国際建設契約約款の各条項、入札・評価システム、契約紛争等を学ぶ。

4) 建設プロジェクトマネジメントシステム特論

PMBOKを基盤にし、PMソフトウェアを活用したスケジュール管理、コスト管理、生産性管理の実践技術を学ぶ。

開講科目(2) 開講予定

5) 国際コンサルティングエンジニアリング特論

コンサルティングエンジニアとして必要な知識体系を学ぶ。

6) 社会資本と都市形成特論

社会基盤整備事業の地域経済の影響を経済分析手法を活用して分析

7) PPP／PFI特論

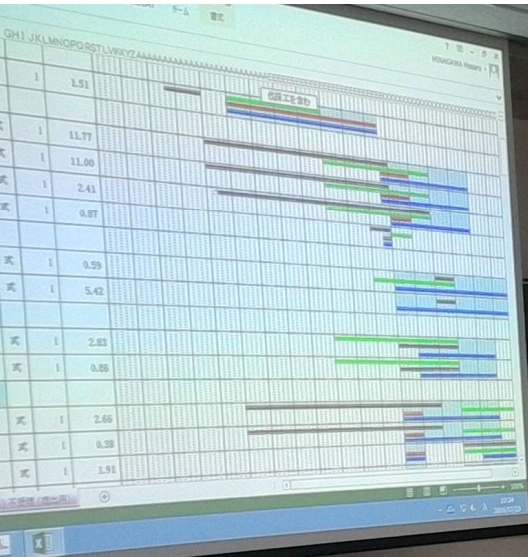
プロジェクトファイナンスの仕組みとプロジェクトリスクの実践論について学ぶ。

8) 社会基盤情報マネジメント特論

BIM・CIMの基礎とこれによる社会基盤施設のライフサイクルコストの観点から見た計画性向上について学ぶ。

初年度入学性

	修士課程	博士後期課程	合計
公的機関(OB含む)	1	1	2
ゼネコン(OB含む)	7	1	9
専門建設業	2	1	3
コンサル	1		1
その他建設系	1	1	2
他業種(機電系)	2	1	3
合計	14	5	19



効果

- 1) 社会基盤マネジメントに関わる**研究と教育の拠点形成**
- 2) **社会や産業に直結した研究課題**
- 3) 博士の学位を取得する社会人確保
- 4) 迅速かつ効率よく大学の研究・教育の充実度を世に発信
- 5) 公的組織や企業群と教員との関係が密に
- 6) **教員の教育力と研究力の向上**

おわりに

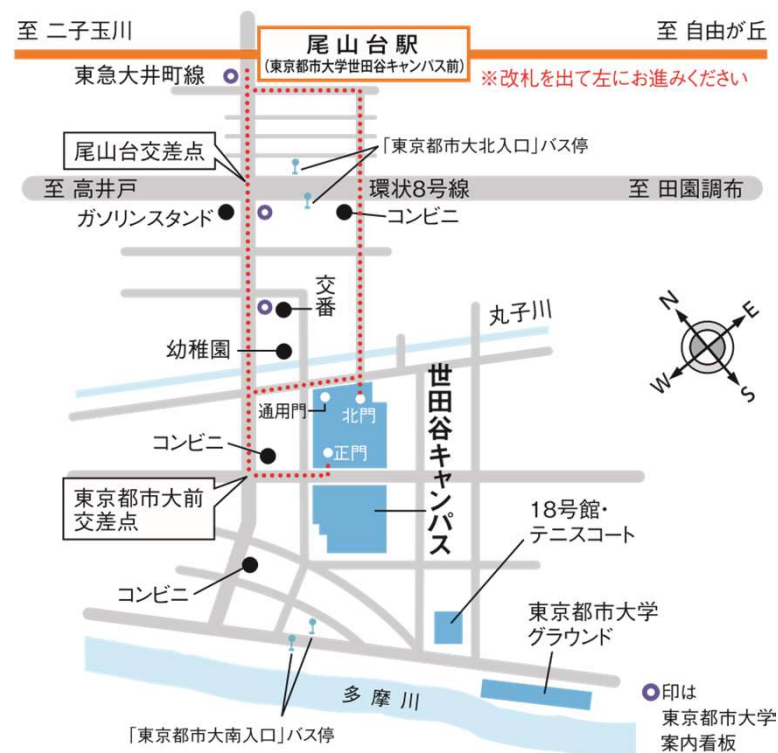
- 「何が社会に求められているか」から教育プログラムを構成する。
「専任教員が何を教えたいか」で作ったプログラムは、第一線で活躍する社会人に受け入れられる教育プログラムにはなりにくい。
- 専任教員自身と、実務家講師による集団指導体制を固める。
- 博士後期課程を修了した社会人が増えると、大学教育に教育者・研究者として関わる“卒業生”が増える。
- “卒業生”と、必ずしも実務に強くない専任教員が協働して、社会に開かれた教育機関として飛躍する。

渋谷サテライトクラス



住所：〒150-0043
東京都渋谷区道玄坂1-10-7 五島育英会ビルB1F

世田谷キャンパス



住所：〒158-8557 東京都世田谷区玉堤1-28-1
TEL: 03-5707-0104 (代表)